



伊丹市立幼児教育センター通信

ときめき ひらめき

Vol 17 (令和6年1月)
発行: 伊丹市立幼児教育センター
住所: 伊丹市千僧1-1
電話: 072-780-2488
アドレス:
youkyosenta@city.itami.lg.jp

★12月3日 伊丹市幼児教育シンポジウム2023開催しました

多数のご参加ありがとうございました!

東り いたみホールにて、「子どもの主体性を育む教育・保育を目指して～子どもを真ん中にして、語り合い、学び合う～」をテーマに開催しました。

当日の内容をダイジェストでお届けします。(DVD 貸し出しできます。センターまで!)



千僧森のほいくえん 発表「センゾ・キューブを作ってみよう! 保育環境の改善への取り組み」
保育環境の改善に向けて職員間で語り合い、スギの板を組み合わせた、遊具にも棚にもなる、汎用性のある「センゾ・キューブ」を子ども、保護者も巻き込んで作成。作る、そして使う過程で様々な工夫がなされた。子どもの主体性の育成には、子どもの姿をよく観察し、保育士自身が主体的に試行錯誤を繰り返すことが大切である。

わかばこども園 発表「主体性を育む保育をめざして」

「好きな遊び」を中心に子どもの必要感、適時の共有体験を大事にしている。運動会等の行事も日々の遊びの延長線上となるよう、やるかやらないかというところから子どもに委ね、子どものやりたいことを実現できるものにした。そのような主体性を育む保育の創造には、保育者同士が語り合い、つながり、主体性を発揮することが大切。



◎実践発表 講評 大阪総合保育大学 教授 瀧川 光治 氏◎

- ◎2園の発表のように職員同士が語り合い、信頼感をもってつながりあうことで、園内で連携の意識が生まれ、新たなことを吸収したり、挑戦したりして学び合う職場環境づくりへつながる。
- ◎職員同士の「対話」を意識し、それにより気づきを得、視野や視点、捉え方を広げ深めていく「対話型園内研修」を通して、子どもの姿を肯定的に語ることが大切である。
- ◎子どもの主体的な活動を支えるのは、保育者の主体性の発揮である。

☆講演 お茶の水女子大学 アカデミック・プロダクション寄付講座 教授 宮里 暁美 氏☆

- ☆予測困難な未来に対応するためには、決められた課題をこなす力だけでは不十分。社会の変化に主体的に関わり合い、幸福な人生を自ら作り出せるようになるために、今「子ども主体」が重要。
- ☆子どもが発案できる生活・子どもが発案したくなる環境・子どもの発案を受け止め支える保育者・試行錯誤できる雰囲気の中で、子ども達は自分の力を発揮し、三つの資質・能力が育まれる。
- ☆そのような子どもを育むために・・・保育者の在り方-
 - ①一緒に生きる 子どもが始めたことをまず大事にし、肯定し、それを共に味わい、一緒に生きる。
 - ②生命的応答 子どものかすかにして短き心もちを見落とさない人だけが、子どもと俱にいる人。
 - ③センス・オブ・ワンダー 幼い子ども時代は、ゆたかな感受性という土壌を耕すとき。
- ☆育ての心は相手を育てるばかりではない。それによって自分も育てられてゆく…子どもと共に育つ。

★アンケートのご協力をお願い★

「令和5(2023)年度 伊丹市の幼児教育に関するアンケート」を実施します。

近日中にメールにてお送りします。本年度の本市の幼児教育・保育を振り返り、次年度の幼児教育センター事業に反映してまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



動画配信のおしらせ 『幼児の「遊び」は なぜ大事なの?』

<https://youtu.be/9LoNkvefGSY?si=XHyiMfvcR2hI23I1>

または、YouTube

で「伊丹市 幼児教育センター」で検索!!

- ・子どもにとっての「遊び」は「学び」
- ・乳幼児と、小学校以上の子どもの学び方はどう違う?
- ・「遊び」の中で育まれる力は? …など
ぜひ一度、見てみてね!!

研修会 DVD 貸し出しできます

◎リスクマネジメント◎乳児保育◎保育環境◎人権◎インクルーシブ◎幼小接続 etc…

様々なテーマの、これまでの幼児教育研修会録画 DVD がセンターにあります。園内研修などに活用してください。詳しくは、センターまで!

★おススメ保育専門書

「動画で学ぶ乳児保育 0・1・2歳児の遊びと援助」

著者:伊藤美保子・西 隆太郎 発行: ひとなる書房



DVDとQRコードで乳児保育の動画が見られます!
乳児の豊かな遊びの世界とこまやかに応答する保育者のかかわりの実際を18本の動画を通して紹介。さらに著者による着眼点や実践を深めるアドバイスなど丁寧な読み取り・解説付きです。乳児保育にかかわるすべての人におススメの1冊です。

「子どもが中心の 「共主体」の保育へ」

監修:大豆生田 啓友 著 :おおえだ けいこ
発行:小学館



最近「共主体」というワードを耳にすることが増えてきました。子どもと大人が学び合う「共主体」の理論と実践例をわかりやすくイラストや写真で紹介しています。

☆ご紹介の専門書は貸本として幼児教育センターに置いています。是非お越しください。